

小頭岳

H・21・8・28(金)
新合地区振興会
振興会便り
文責:佐々木 元
NO. 6

祝 敬 老

長寿の秘訣

若いときから腹八分の食事。あと1杯食べたい所で止める。
周りの人への感謝の気持ちをいつも忘れない。
手を合わせる心。
体を良く動かす。96歳まで一人で生活していた。

松下カズエさん 103歳(十の原)に聞きました。
新合地区で最年長です。子供さんやお孫さん、親戚に会うのをとても楽しみにしております。

宙を舞うちょんかけごま

～みごとな技を楽しみ交流～

地域総合学習の会では8月21日は恒例の「小学校と老人会の交流会」を実施しました。今回は、全国的に活躍しておられる「肥後ちょんかけごま名人」の桃太郎こと坂下一郎さん(新合出身、水俣在住)こま作り名人「どんぐり工房」の東 正一さんの協力を得て、「肥後ちょんかけごま」の実演がありました。大振り、足くぐり、背くぐり、頭上回し、など、みごとな技を披露されました。「遊びは学びである」と技は礼儀などに通じるものと心の大切さも強調されました。そのあと、小学生と先生方老人会(約20名)ちょんかけごまの練習をし交流を深めました。老人会の方々は「昔とったきねづか」と自信ありげでしたが、実際やってみるとなかなか昔のようにはいかず四苦八苦の場面もありました。坂下さんは、新合の大丸出身で吉川軍志さんと同級生です。現在水俣在住で今回ボランティアでお出でいただきました。



小学生との交流会

新合地区 敬老会 お待ちしています

新合地区振興会で敬老会を実施するようになってから4回目を迎えます。今年は9月13日(日)です。7月から実行委員会を中心に取組みを始めています。すでに、70歳以上の方240名にご案内を差し上げております。長寿を祝しこれまでのご苦労に感謝し、さらにいつまでもお元気であられることをお祈りし、新合地区を挙げて心をこめた手作りの敬老会を考えています。皆様の多くのお出でをお待ちしております。

金婚夫婦表彰 おめでとうございます

立原区 藤木義政・初美夫妻、上津留区 山口博・吉子夫妻、吉田多計至・四津枝夫妻
下津留区 山本和生・ナツミ夫妻、市平区 原田信利・ジツ子夫妻

5組がおむかえになりました

交通安全教室

～安心安全なまちづくりを目指して～

地域総合学習の会では7月12日安心・安全なまちづくりを目指して宮野河内駐在所の田中所長をお迎えして交通安全教室を実施しました。参加者は30名でした。

交通事故の現状として6月までに牛深警察署管内での人身事故は245件、29人の死傷で昨年より1.5倍増と厳しい状況である。事故の特徴として、高齢者の事故が多い国道266号線での事故が半数を占めている事などの話がありました。そのあと運転者側から見た事故の原因と歩行者側・自転車側から見た原因の話があり、次のようなお願いがありました。

1. 横断歩道での左右確認。
2. 交差点では歩きながら、走りながらの確認はしない。止まってする。
3. 夜間外出は明るい服または反射鏡を着ける
4. 車のライトは上向きが基本。対向車、人と出会うときは下向きに。
5. シートベルトを必ず着用。(死亡の7割はシートベルトをしていない人)
6. 悪質重大違反(飲酒運転)の免許取り消し期間が5年 10年に!

最後に参加者から次のような要望等がありました。

- ・ 極端に遅い車の指導をしてほしい。
- ・ 新合駐在所の設置をしてほしい。
- ・ 市ノ瀬の三叉路(国道～県道)にカーブミラーを設置してほしい。
- ・ 十の原(国道)～一之瀬(市道)付近の樹木の剪定、伐採をしてほしい。

この学習の会を充分生かし交通安全に努めたいものです。



日報抄

長寿の秘訣

「かんしゃくの『く』を取ってごらん」の文字が目止まった。在宅介護とその関連事業を手掛けているさくらメディカル(上越市)の季刊紙「ざいたくしんぶん」の新年号の見出しの一つだ。「在宅介護を受ける人を励まそう」。そんな願いで2002年に創刊された。元気いっぱいのお年寄りがよく登場する。今回紹介された上越市の池田チヨノさんは、「かんしゃくから苦しみ、苦勞の『く』をとれば『感謝』になる」が信条とか。百四歳の今も杖は要らない。その元気にあやかりたいと会いに行った。白髪のおばあちゃんがこたつで迎えてくれた。「悪いところはないし、長生きさせてもらって感謝してます」と手を合わせる。親鸞の教えに安らぎを得る毎日という。健やかに暮らす心得を説いた貝原益軒の「養生訓」には、「心を平らかにし、(略)これ徳を養い身をやしなう」の一節がある。池田さんの「かんしゃくの戒め」にも通じる教えだろう。九十七歳の現役医師、日野原重明さんも著書で「感謝」を長寿の秘訣の一つに挙げる。「命を与えられたことに心から感謝して死んでいけたらどんなにいいだろう」。命は多くの人によって支えられている。それを忘れがちな身には耳が痛い。四十代で夫と死別した池田さんは、「鎌もって、鋤もって」土にまみれてきた。想像を超える苦勞があったに違いない。今は穏やかな日々を送る。「みんなに面倒みてもらって感謝」と合わせた手は温かく、しっかりと厚い。長生きする人の手だと思った。

新潟新聞

(コラム 歳時事 2009年4月号)より

～おしらせ～

10月4日(日)町民体育祭(地区対抗総合球技大会)があります。昨年同様ソフト、ミニバレー、ゲートボールなど13種目が実施されます。

選手役員550名の参加で市になってから唯一の町の大きな行事です。新合地区は昨年ゲートボールが優勝しております。選手・応援への協力をお願いします。

振興会で駐在所の設置を牛深警察署に要望していましたが、先日、「設置は困難。」との回答がありました。理由としては、「駐在所は減らす方向である。新合地区より犯罪・事故等が多いところがある。」対応として「毎日1回はパトロールする。利用しやすい駐在所の地域割りを検討する。」でした。



交通安全教室

- 普通救命講習会 -

7月14日夜、地域環境部会(部長小川勝幸)では、事故等で救急車や医師が駆けつけるまでの応急処置が出来るよう河浦分署の協力で「普通救命講習会」を実施しました。受講者は3時間にわたる講習を熱心に受けていました。



普通救命講習会